

実践ノウハウの提供で お客様と共に持続可能な社会づくり

創・省エネスマート社会
じはやかな復元力(resilience)
クリーンフォーラム21

キヤノン

キヤノンの環境ビジョン「ACTION for GREEN」は新たなフェーズへ突入した。製品の高機能化と環境負荷低減の両立を基本目標とする同ビジョンのもと、従来より「つくる」「つかう」「いきかす」の製品ライフサイクル全体で二酸化炭素(CO₂)排出量削減などに取り組んできた。2009年の策定以来、環境トップランナー製品をオフィス用複合機から業務用プロダクションプリンター、レーザープリンターまで拡充。「見える化」と「改善」のサイクルは不变テーマだが、今年から「見える化」の対象を製品使用時まで広げた。一方、東日本大震災が自社工場およびサプライチェーンに甚大な被害をもたらすなか、社員の節電意識は一変。激動の11年をきっかけに、環境対策に対し一層強固な体制を作り上げられるかどうかが今、問われている。

ACTION for GREEN

豊かさと環境が両立する未来のために



常務取締役
環境本部長・品質本部長
岩下 知徳氏

環境負荷の「見える化」を強化

インタビュー

11年は東日本大震災とその

後の電力供給問題で、環境本部

は忙しい1年でした。

「震災振り返り、何かのき

つかけにより人間は成長し、多

くの知恵が生まれてくるとい

うことを強く認識した。

昨年まで

も当社は省エネを中心とした環

境対策に一生懸命取り組んでき

たつもりだったが、震災の対

応で2ランクも、3ランクも上

のことを成し遂げることができ

た。今回は、各人で危機意識を

持ち、家庭でも会社でも自発的

に節電に乗り出したことが素晴

らしい」

震災はキヤノンが長年続け

てきたCO₂排出量削減などの

環境負荷低減活動にも影響を及

ぼしました。

「物事を『見える化』し、ム

ダに気づき、改善するサイクル

の大切さを再確認した。見える

化はやはり大切で、例えば当社

においても、全社員のパソコン

に省エネソフトを導入して自分

の使用電力量を見える化するな

どの取り組みにより、社員の意

識は大きく変わった」

「従来の製造現場の発想は、

まず生産量を決め、それをもと

にどれだけCO₂や消費電力を

削減できるかを考えていた。今

冬以降も節電活動から定常化

できるテー...マは継続し、修正が

必要なテーマは手を加えて長続

けて3年がたちます。

「環境ビジョン策定後、最初

に発売した製品がネットワーク

複合機『imageRUNNER

ADVANCE (iR A

DV)』だった。今年にかけ

て、そのiR ADVの基本技

術を他の製品へも拡大し、iR

ADVシリーズの拡充に加

え、プロトアクション・プロコンタ

『imagego PROGRESS』など

へ横展開した」

「今年から機器の使い方ま

で、見える化の対象を広げまし

た」

「お客さまが使

用する場で環境

負荷をしっかりと減らす

ことができる『見える化』に力を

入れ始めた。現状のオフィス環

境におけるキヤノン製品のCO₂

排出量や省エネ性能の高い

製品への入れ替えによるCO₂

削減効果などをシミュレー

ンできるウェブサイト『GREEN NAVY』に加え、実際に

お客さまが使用する場でCO₂

削減量などを確認すること

ができる仕組みとして、『ECO

情報プラグイン』の提供を始

めた。これにより、当初想定ど

う実際の機器の稼働状況の乖離が

分かる。実績の見える化が可能

になり、そこから改善へ進めら

れるようになつた」

「12年の行動計画は、

「基本は見える化と改善。こ

れからも見える化の範囲をどん

どん広げていく。見える化の手

段はたくさんある。お客さまに

任せきりにするのではなく、当

社が協力しながら改善を進めて

いきたい。また、今までには材料

や省エネ性能など、単品で環境

負荷の低減を考えてきたが、才

斐では複合機などをシステム

化して使用した時に、どれだけ

環境負荷を低減できるかを総觀

めた。これにより、当初想定ど

う実際の機器の稼働状況の乖離が

分かる。実績の見える化が可能

になり、そこから改善へ進めら

れるようになつた」

「また、バイオプラスチック

や電源設計などの環境技術の採

用は、iR ADVをはじめ映

像事務機系の製品が中心だった

が、同じように他事業にも広げ

ていきた。技術の転用は可能

で、環境技術で当社の製品群全

て底上げしていく」

カーフォーデジタル複合機
キヤノンの環境ビジョン
を推進する上で力がな
る「見える化」はハード
ウエアだけにとどまらず
映像事務機環境推進部の齋
藤雅昭課長はお客さまの才
フにまで気を配る。

それが11年8月から提供
された。管理ツール「E
CO情報プラグイン」。紙
の使用量、消費電力、CO₂
排出量の実績や予測値を
登録可能な機器数は最大
1万台。オフィスの印刷
機器ごとにグラフでわざわざ表示する
例えれば、特定の複合機に對
象を絞り、1週間の消費電
力の推移を作業中や待機
中スリープモード(省エネ
モード)で、個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。
例えれば、特定の複合機に對
象を絞り、1週間の消費電
力の推移を作業中や待機
中スリープモード(省エネ
モード)で、個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。
例えれば、特定の複合機に對
象を絞り、1週間の消費電
力の推移を作業中や待機
中スリープモード(省エネ
モード)で、個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。
例えれば、特定の複合機に對
象を絞り、1週間の消費電
力の推移を作業中や待機
中スリープモード(省エネ
モード)で、個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。
例えれば、特定の複合機に對
象を絞り、1週間の消費電
力の推移を作業中や待機
中スリープモード(省エネ
モード)で、個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。
例えれば、特定の複合機に對
象を絞り、1週間の消費電
力の推移を作業中や待機
中スリープモード(省エネ
モード)で、個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。
例えれば、特定の複合機に對
象を絞り、1週間の消費電
力の推移を作業中や待機
中スリープモード(省エネ
モード)で、個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ごとにグラ
フでわかりやすく表示する
仕組みだ(上図参照)。

機器ごとに個人ご